

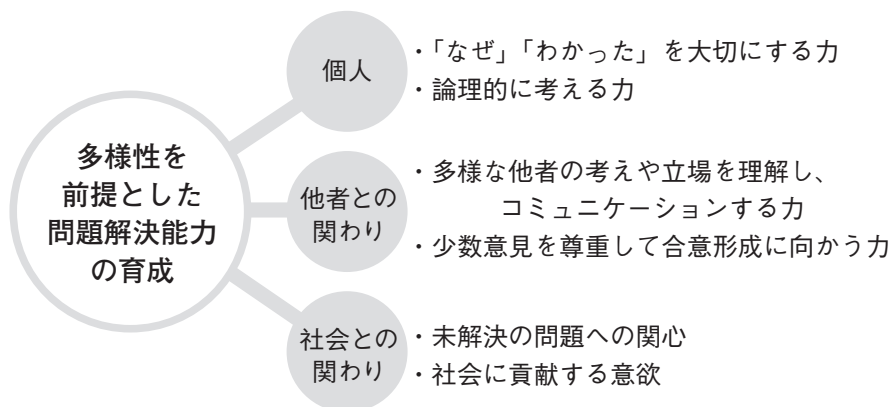
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 39	小学校	国語	国語	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 103	みんなとまなぶ	しょうがっこう	こくご 一ねん 上
	国語 104	みんなとまなぶ	しょうがっこう	こくご 一ねん 下

I 編修の基本方針

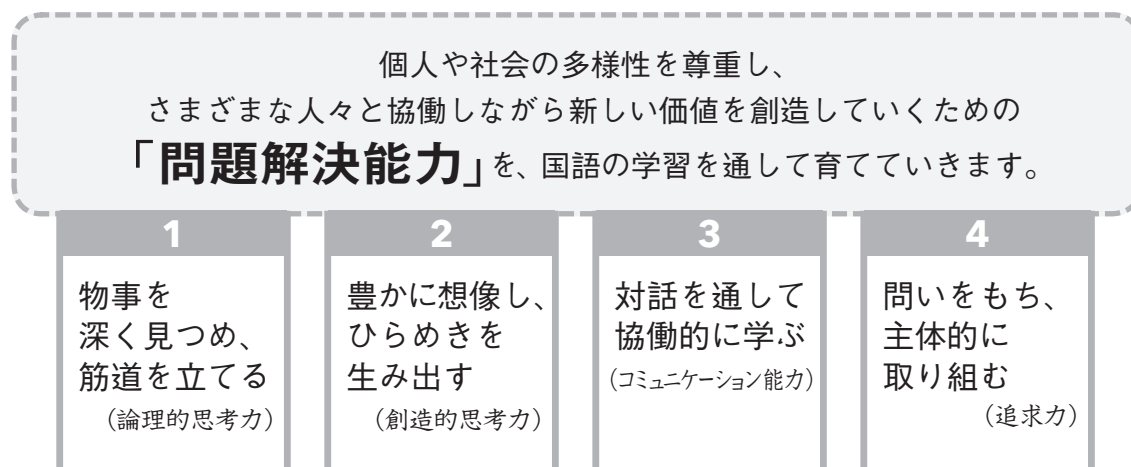
私たちは、共通の編修理念に基づき、育てたい資質・能力を以下のようにとらえました。



教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、この教科書では上記の理念を取り入れ、次のような基本方針を掲げました。

「言葉と深く関わり、新しい世界を切りひらく」

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちはこれからの社会を生きるための「確かな言葉の力」を身につけることができます。言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に挑戦する子どもたち。そのような姿を思い描き、教科書を編修しました。

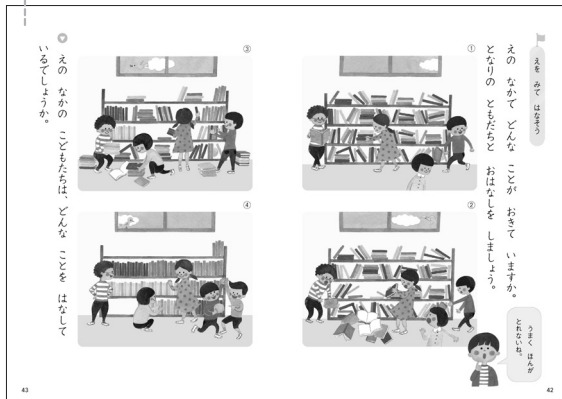


この教科書では、問題解決力を育成すべく、その支えとなる力を4つに分けて整理しました。

1 物事を深く見詰め、筋道を立てる

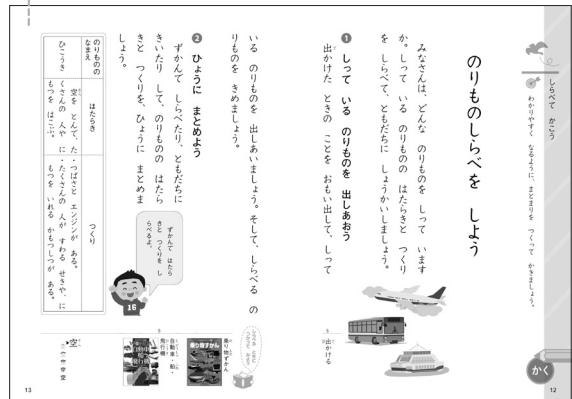
対象を言葉で理解・表現し、物事を論理的に解釈する力を育成することで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしています。また、思考操作の方法をメタ認知することにより考えの深化を促し、真理を求める態度や自主及び自律の精神を養います。

4枚の絵から見つけたことや考えたことを話し合い、言語化していきます。絵の中で起きた出来事を筋道立てて考えることで、論理的思考力の素地を養います。



「えをみてはなそう」(上巻 P42・43)

調べた乗り物について書き出し、「はたらき」と「つくり」に分けて整理することで、内容の理解を促します。



「のりものしらべをしよう」(下巻 P12・13)

2 豊かに想像し、ひらめきを生み出す

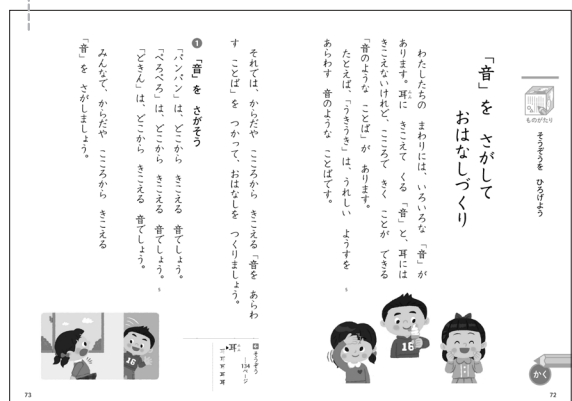
豊かに想像したり、思考を再構成して捉え直したりすることでその能力を伸ばし、情操を豊かにするとともに、既存の認識にとらわれない新しい価値を生み出すための創造性を培います。

お話「おおきなかぶ」を読み、人物に寄り添い豊かに想像をふくらませます。



「おはなしをふりかえろう」(上巻 P76・77)

生活の中で経験した音から想像し、自分だけのお話を作ります。

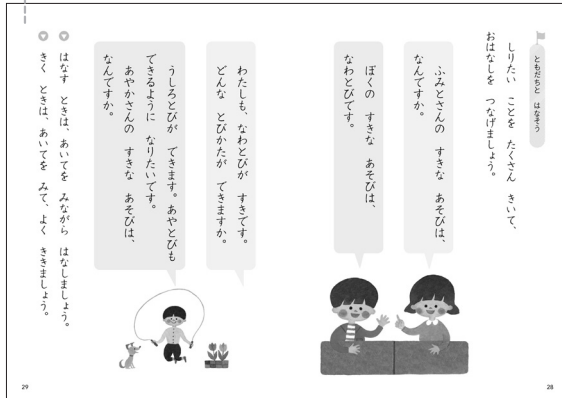


「『音』をさがしておはなしづくり」(下巻 P72・73)

3 対話を通して協働的に学ぶ

考えや立場の多様性を理解し、言葉を介して協働するための学習基盤を作っていくことで、個人の価値を尊重し、主体的に社会の形成に参加する態度を養います。また、活動目的を明確にし、互恵的な集団思考の有用性を図ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

話し手に寄り添いながら共感的に聞き、会話を繋げていくことで、伝え合う力を高め、人と関わり合っていく楽しさを味わいます。



「ともだちとはなそう」(上巻 P28・29)

友達と協力しながらクイズのヒント作りに取り組みます。友達とアイデアを共有することで、考えの相互理解を深めていきます。



「クイズ大会をしよう」(下巻 P24・27)

4 問いをもち、主体的に取り組む

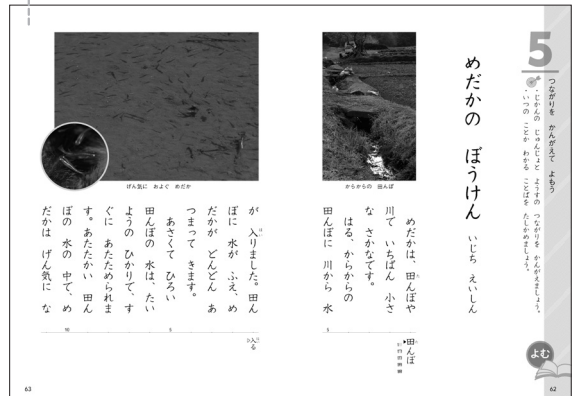
自ら課題を発見し、それを解決していくためのプロセスを構築する力を育てていくことで自主及び自律の精神を養います。また、積極的に課題に関わり、考え、判断し追求していくことで、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。

身近な動植物を注意深く観察して発見したことを、友達にどのように伝えるかを考えながら文章に表します。



「がっこうでみつけたよ」(上巻 P104・105)

季節ごとのめだかの様子をとりえ、「どんな冒険なのか」を考えながら積極的に読み進めていきます。



「めだかのぼうけん」(下巻 P62・63)

II 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
入門期入門編 ことばとともだち	学校に慣れ、友達との関係作りを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました（第3号）。 音声言語と文字言語を理解し使うことで、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第1・2号）。 音読や読み聞かせの活動を通して、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。（第1号）。	P1～21
入門期基礎編・本編 “や”のつくじ ことばあそび にているじ つまるおん のばすおん ちいさい や・ゆ・よ かぞえうた かずのかんじ かたかなをみつけよう かんじのできかた	文字と音とのつながりを意識する活動を通し、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました。（第1号）。 文字や言葉に着目し、読んだり書いたりすることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P22～23 P24～25 P30～31 P32～33 P40～41 P50～51 P80～81 P82～83 P102～103 P112～113
さるじぞう おはなしがいっぱい	昔話を読むことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うようにしました（第5号）。	P114～121 P122～123
ともだちとはなそう えをみてはなそう はなしたいな、なつやすみのこと 「ぬりえゲーム」をしよう	先生や友達とふれ合う活動を通し、お互いのよさや特徴を知り、よりよい関係を築けるよう配慮しました（第2・3号）。	P28～29 P42～43 P92～95 P110～111
かるたをつくろう きのうのこと は・を・へ えにつきをかこう	身近なことを題材にして文を書くことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P44～45 P60～63 P64～65 P84～87
がっこうでみつけたよ		P104～109
かえるのかさ たぬきのじてんしゃ おはなしをたのしんでよもう・ おはなしをふりかえろう ほんをよもう いるか・おさるがふねをかきました	お話や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P34～39 P46～49 P66～77 P78～79 P88～91
いきもののあし はまべてひろったよ	生き物を題材にした説明文を読むことで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました（第4号）。	P52～59 P96～101
資料編 月よに ことばをみつけよう ひらがなをたしかめよう ひらがなのひょう	お話を読み、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。 身近な語彙や文字について自覚的に見つめることで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。（第1号）。	P124～127 P128～129 P133～134 P135～136

【下巻】

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 うみはごきげん	詩を声に出して読むことで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	表紙2～P1
本編 文のかたち かたかな 日づけとよう日 よみやすくするために まとめてよぶことば ひつじゅんとにているかん字 かん字のひろば	文型や語彙、漢字の学習を通して、幅広い知識と教養を身に付けるようにしました。（第1号）。 言葉に着目して自覚的に学ぶことで、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P18～19 P20～23 P40～41 P52～53 P76～77 P80～81 P105
どくしよびじゅつかんをつくろう・ どくしよのへや	読書を通して、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P56～59

ふゆ休みにしたよ	友達の前でスピーチをすることで、自律の精神を養い、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養えるようにしました（第2・3号）。	P60～61
クイズ大会をしよう	友達との交流を通して考えを広げ、自他の敬愛と協力を重んずることができるようにしました。（第3号）。	P24～27
のりものしらべをしよう おてつだいをしたよ	身近な乗り物や生活場面を題材にした教材を通して、生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第2号）。	P12～15 P82～85
まる（。）・てん（、）・かぎ（「」） のつけかた につきをかこう ありがとうをとどけよう	文の書き方を理解し、思いや考えを書き表すことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、自主及び自律の精神を養えるようにしました（第2号）。	P50～51 P54～55 P78～79
見て、きいて、さわって 「音」をさがしておはなしづくり	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにしました（第2号）。	P42～43 P72～75
一年生をふりかえって	一年間の学びをふり返り、今後の学習に生かそうとすることで、主体的に社会の形成をし、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。（第3号）。	P108
はじめは「や！」 ろくべえまってるよ うれしかった	お話や詩を読み、人の心などの美しいものや気高いものに触れ、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました（第1号）。	P28～39 P86～104 P106～107
くらしをまもる車 まめ めだかのぼうけん	身近な乗り物を題材にした教材を通して、生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるようにしました（第2号）。 生き物を題材にした説明文を読むことで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました（第4号）。	P6～11 P44～49 P62～71
ずかんをつかってしらべよう	図鑑を使って積極的に調べる活動を通して、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにしました（第1号）。	P16～17
資料編	おんちよろちよろ ことばのへや	昔話を読むことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました（第5号）。 文字について自覚的に見つめることで、幅広い知識と教養を身に付けられるようにしました。（第1号）。
	かたかなをたしかめよう	
	かたかなのひょう	
		P112～119 P124 P125～126 P127～128

Ⅲ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、以下の工夫をしました。

- **伝統と文化を尊重し、郷土愛と異文化を理解する態度を養います。**
 - ・昔話を声に出して読むことで、日本の文化や地域の文化に親しむよう配慮しています。
- **働くことの尊さや家族の役割に気付くよう配慮しています。**
 - ・暮らしを守る車をテーマに、働く人々によって私たちの生活が守られているということに目を向けられるような読み物教材を掲載しています。
 - ・家のお手伝いをテーマにした教材を掲載し、お手伝いをする中で家庭での役割の大切さに気付き、自己肯定感や達成感につながるようにしています。
- **自然を大切に作る心を育てます。**
 - ・動植物をテーマにした読み物教材を掲載し、自然や環境保護への意識を持てるようにしています。
- **インクルーシブ教育、ユニバーサルデザインに配慮しています。**
 - ・文字の大きさ、書体（書き文字に近いフォント）、囲みや罫線による地の文との区別、色使いなどのレイアウトを工夫し、判読しやすくしています。
- **読書習慣を身に付け、生涯にわたって本に親しむ態度を育てます。**
 - ・本を見つけるための手掛かりとなるよう図書紹介のページを設け、読書への意欲と興味を喚起するようにしています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 39	小学校	国語	国語	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	国語 103	みんなとまなぶ	しょうがっこう	こくご 一ねん 上
	国語 104	みんなとまなぶ	しょうがっこう	こくご 一ねん 下

I 編修上特に意を用いた点や特色

○編修の基本方針

「深く考え、共感し、しなやかに生きる」

グローバル化が進展し先の読めない社会の中で、予測を超えた課題に向き合い、これからの未来をどう切りひらいていくか。

言葉と深く関わり、没頭しながら、目の前の課題を踏み越えることができた時、子どもたちは社会を生きるための確かな言葉の力を身につけることができます。

言葉の力は生きる力そのものです。みんなとともに一步一步、言葉の力を獲得し、自信と希望をもって新しい課題に柔軟に対応する子どもたち。そのような姿を思い描き、子どもたちの明るい未来へのスプリングボードとなる教科書をめざしました。

【めざす子ども像】

自ら学び、追求し、深く考え、自分の言葉で発信する姿。

互いの立場や考えを尊重し、対象を言葉で伝え合うことで自分の考えを確かめ、新たな価値の発見や考えの更新を実感する姿。

必要な情報を見極め、課題解決に向けて意思決定や行動選択のできる姿。



日本人としての感性や情緒を育むとともに、さまざまな文化や考え方の多様性を理解し、他者と協働していく姿。

【みんなと学ぶ 小学校 国語の特色】

何を学ぶか

どのように学ぶか

何ができるようになるか

つきたい力を明確にし、対象と主体的に関わり、言葉による見方や考え方を働かせることで、確かな言葉の使い手となる能力を育てます。

特色 ① 確かな言語能力を育成します。

特色 ② 見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

特色 ③ 学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

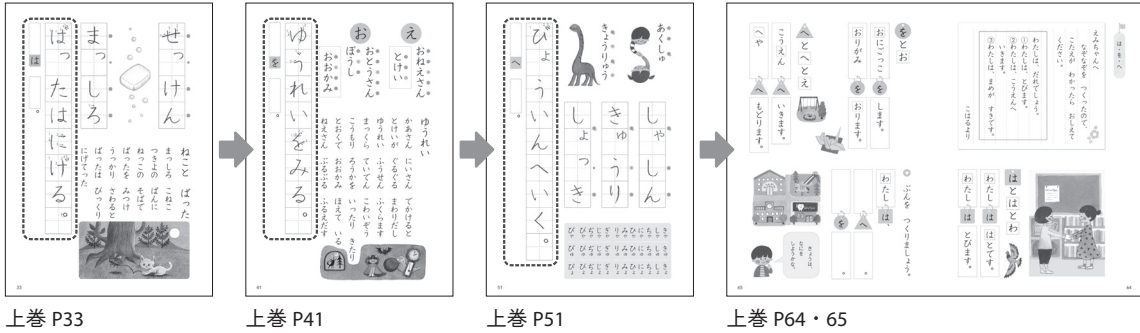
特色 ④ 対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

特色 1

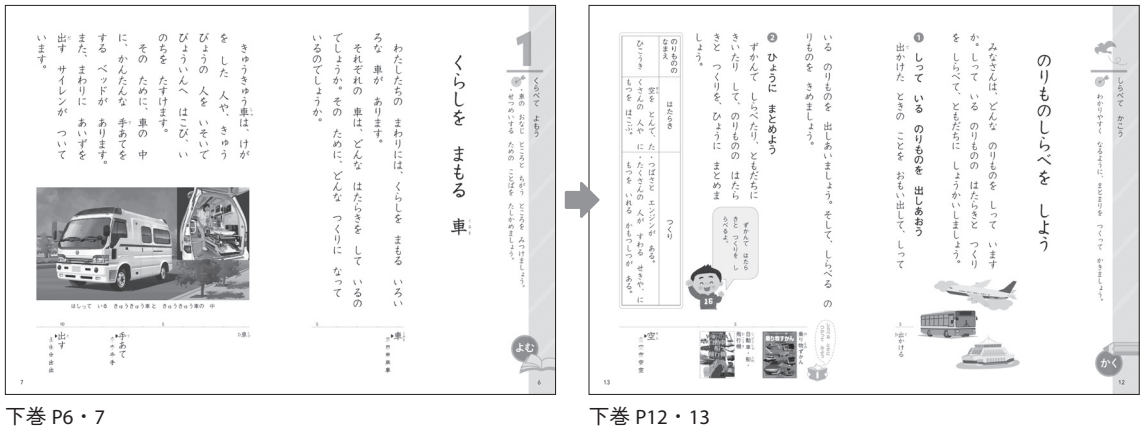
確かな言語能力を育成します。

言葉に着目し言葉で考える機会を設けることで、国語の基礎・基本を積み上げていきます。また、教材どうしを関連させることで系統性をもたせ、学習を繰り返しながら理解を深め、資質・能力の定着を図ります。

- スモールステップで学び、ふり返りながら、「は・を・へ」を使った文の使い方を習得していきます。



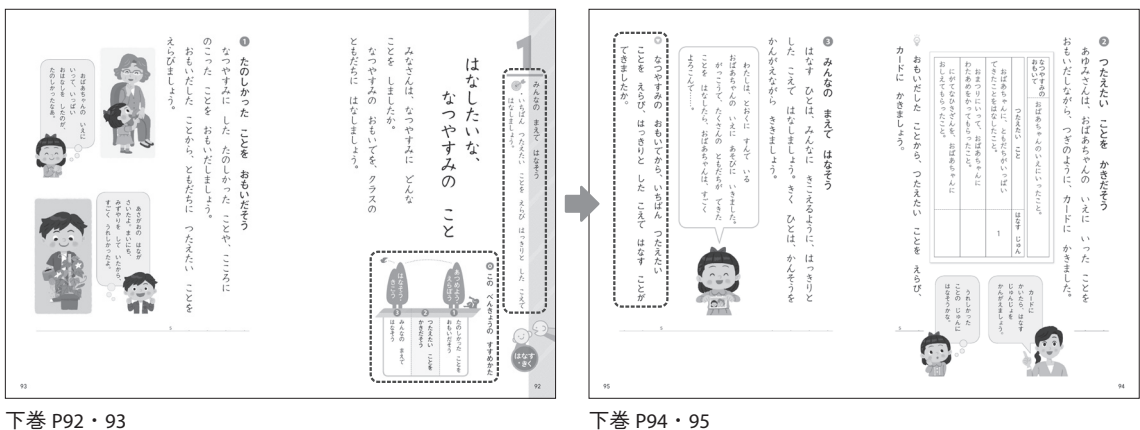
- 説明文を読み、学んだ技能を使って書く活動につなげることで定着を図ります。



特色 2

見通しをもって取り組むことで、学びの自覚化を促します。

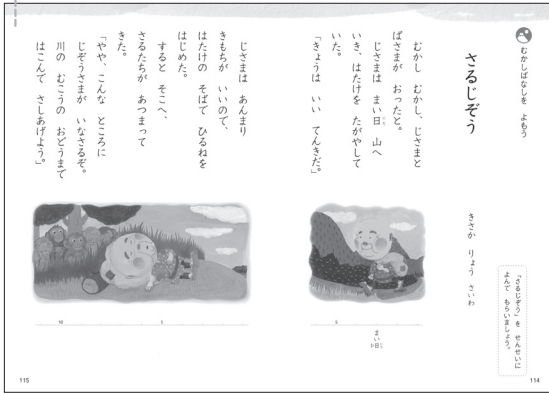
- 学習前に、何のために、何を、どのように学ぶのかを確認することで、見通しをもって取り組むことができます。また、学習後には自身の学びをふり返ることができます。



特色 3

学ぶ意欲を喚起し、豊かな情操を育みます。

声に出して読むことで、言葉の響きやリズムを味わわせ、受け継がれてきた言葉への興味や関心を喚起します。



上巻 P114・115

絵で物語の世界を提示することで、本との豊かな出会いの場を設けています。



上巻 P122・123

特色 4

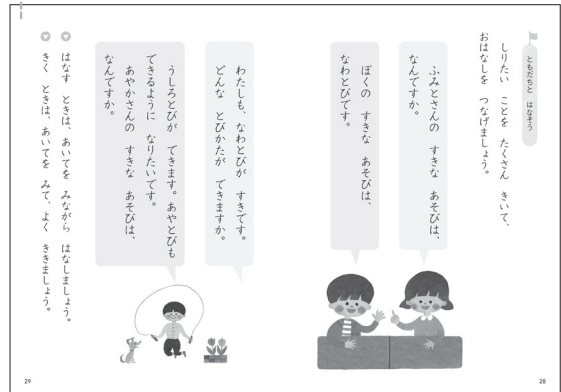
対話の質を高め、多様な考えを受容する「共感力」を培います。

人間関係を築いていくにはどんな言葉を使ったらいいかを自身で考え、言葉への関心を高めていきます。



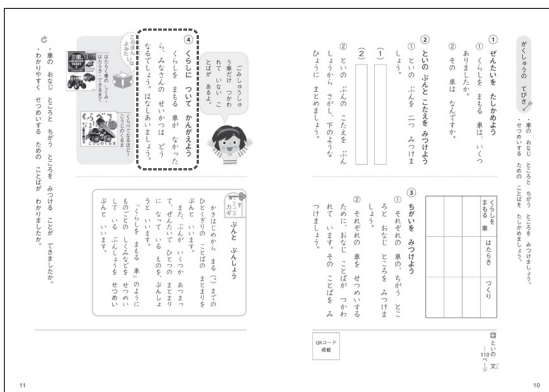
上巻 P2・3

友達に聞いてもらいたいという意欲のもと、会話をつないでいくことで、言葉が人との関係をつくる働きがあることを体感します。

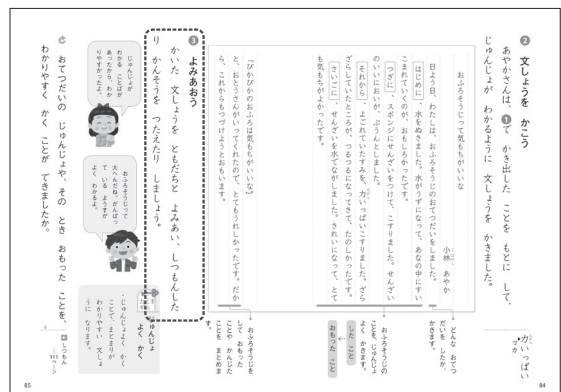


上巻 P28・29

● 読む活動や書く活動において、感想を伝え合う場面を設け、対話の価値に気付くとともに、自己有用感を高められるようにしています。



下巻 P10・11



下巻 P84・85

Ⅱ 対照表

【上巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
ことばとともだち			p①～1	0	
どういおうかな	(1)キ	A (1)オ	p2～3	2	
おなまえおしえて	(1)ウ	A (1)ア, オ	p4～5	1	
おはなしききたいな	(3)エ	B (1)エ, (2)イ	p6～7	2	
みんなであいうえお	(1)イ, ウ		p8～9	2	
おおきくちいさく	(1)ウ		P10～11	2	
えんぴつをもって	(1)ウ, ク		P12～13	3	
となえうた あいうえおにのうた	(1)イ, ウ, ク	C (1)イ	P14～15	2	
えからみつけたよ	(1)カ	A (1)オ, (2)イ	P16～17	3	
どこがかわったかな	(1)ア, オ	A (1)オ, (2)イ	P18～19	3	
ひらがなひろば	(1)イ, ウ		P20～21	2	(3)
ゝや°のつくじ	(1)ウ, オ, ク	B (1)ウ	P22～23	2	
ことばあそび	(1)ア, イ, ウ, オ (3)イ	B (1)ウ	P24～27	4	
ともだちとはなそう	(1)ア, イ, カ	A (1)ア, エ, オ, (2)ア	P28～29	3	
にているじ	(1)ウ, オ	B (1)ウ	P30～31	3	
つまるおん	(1)イ, ウ, カ, ク	B (1)ウ	P32～33	2	
かえるのかさ	(1)ア, キ, ク	C (1)イ	P34～39	6	
のばすおん	(1)イ, ウ, ク	B (1)ウ	P40～41	2	
えをみてはなそう	(1)ア, (2)ア	A (1)オ, (3)イ	P42～43	4	
かるたをつくろう	(1)オ, カ, (3)イ	B (1)ア, ウ	P44～45	3	
たぬきのじてんしゃ	(1)ア, ウ, ク	C (1)イ, オ, カ, (2)イ	P46～49	8	
ちいさいや・ゆ・よ	(1)イ, ウ, ク	B (1)ウ	P50～51	2	
いきもののあし	(1)カ, キ, ク	B (1)ウ C (1)ア, カ, (2)ウ	P52～59	8	
きのうのこと	(1)ウ, カ, キ	A (1)ア, イ B (1)ア, ウ, オ, (2)イ	P60～63	6	
は・を・へ	(1)ウ, カ	B (1)ウ	P64～65	3	
おおきなかぶ／おはなしをふりかえろう	(1)カ, ク, (3)エ	C (1)イ, エ, カ, (2)イ	P66～77	10	
かぞえうた	(1)エ, オ, ク		P80～81	2	
かずのかんじ	(1)エ, オ, ク		P82～83	2	
えにっきをかこう	(1)ウ	B (1)ア, ウ, オ, (2)イ	P84～87	4	
いるか／おさるがふねをかきました	(1)ア, ク	C (1)エ, カ	P88～91	2	
はなしたいな、なつやすみのこと	(1)ア, イ, オ	A (1)ア, イ, ウ, (2)ア	P92～95	6	(1)ア
はまべてひろったよ	(1)ア, オ, カ, (2)ア	C (1)ア, ウ	P96～101	6	
かたかなをみつけよう	(1)ウ		P102～103	2	
がっこうでみつけたよ	(1)ア, オ	B (1)ア, ウ, エ, (2)ア	P104～109	10	
「ぬりえゲーム」をしよう	(1)ア	A (1)エ	P110～111	3	
ことばのいずみ 1 かんじのできかた	(1)エ		P112～113	2	(1)エ
さるじぞう／おはなしがいっぱい	(1)ク, (3)ア, エ	C (1)イ, (2)イ	P114～121	8	(1)オ

【下巻】

図書の構成・内容	学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数	※
	1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等			
うみは ごきげん	(1)ア, ク	C (1)エ	p①～1	1	
くらしをまもる車	(1)ア, カ, ク, (2)ア	C (1)ア, ウ, オ, (2)ア	p6～11	6	
のりものしらべをしよう	(2)ア, ウ, (2)ア, (3)エ	B (1)ア, イ, ウ, オ	p12～15	8	
ずかんをつかってしらべよう	(3)エ	B (1)ア C (1)ウ, (2)ウ	P16～17	2	(1)イ
ことばのきまり1 文のかたち	(1)カ		P18～19	2	
ことばのいずみ1 かたかな	(1)ウ		P20～23	3	
クイズ大会をしよう	(1)ア	A (1)オ, (2)イ	P24～27	6	
はじめは「や！」	(1)ア, カ, ク	C (1)イ, エ, オ, カ, (2)イ	P28～39	9	
ことばのいずみ2 日づけとよう日	(1)オ		P40～41	2	
見て、きいて、さわって	(1)ア, オ	B (1)ア, オ	P42～43	7	
まめ	(2)ア, カ, (2)ア	C (1)ア, ウ	P44～49	5	
まる(。), てん(、), かぎ(「」)のつけかた	(1)ウ	B (1)エ	P50～51	3	
ことばのきまり2 よみやすくするために	(1)ウ		P52～53	2	
にっきをかこう	(1)ア, ウ, カ	B (1)ア, エ, (2)イ	P54～55	6	
どくしょびじゅつかんをつくらう／どくしょのへや	(3)エ	C (1)カ, (2)イ	P56～59	3	(3)
ふゆ休みにしたよ	(1)ア, イ, オ, キ	A (1)ア, イ, ウ	P60～61	2	(1)ア
めだかのぼうけん	(1)カ, (2)ア	C (1)ア, カ, (2)ア	P62～71	7	
「音」をさがしておはなしづくり	(1)ア, オ	B (1)ア, オ, (2)ウ	P72～75	12	
ことばのいずみ3 まとめてよぶことば	(1)オ		P76～77	2	
ありがとうをとどけよう	(1)ア, ウ	B (1)エ, (2)イ	P78～79	6	
ことばのいずみ4 ひつじゅんとにているかん字	(1)エ		P80～81	3	(1)エ
おてつだいをしたよ	(2)ア, ウ, (2)ア	B (1)ア, イ, ウ, オ, (2)ア	P82～85	12	
ろくべえまってるよ	(1)ア, ク	C (1)イ, エ, カ, (2)イ	P86～104	12	
かん字のひろば	(1)エ		P105	1	(1)エ
うれしかった	(1)ア	C (1)オ	P106～107	1	
一年生をふりかえって	(1)キ	B (1)オ	P108	3	

表内の記載は重点項目のみを示しています。

<備考>

- ・ 1 知識及び技能
 - (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
 - (2)情報の扱い方に関する事項
 - (3)我が国の言語文化に関する事項
- ・ 2 思考力、判断力、表現力
 - A 話すこと・聞くこと
 - B 書くこと
 - C 読むこと

※には「2 内容の取扱いについての配慮事項」に関するものを示しています。